

# 青少年育成委員会ニュース

第34号 | 令和4年10月発行 | 毎年11月20日は「さっぽろ子どもの権利の日」



## 地区の活動紹介

### 豊平区

#### 太鼓部発表会

豊平地区青少年育成委員会

日時 令和4年9月21日(水)

場所 豊平児童会館



#### 豊平児童会館「太鼓部発表会」

豊平児童会館の人気のクラブである「太鼓部」が2年ぶりに活動を始めました。

豊平地区青少年育成委員会では、毎回練習のお手伝いに加わり、子どもたちに声をかけ、上達できるよう一緒に楽しんでいます。今年はこれまで、講師の荒川先生の丁寧な指導の下、「あいさつの仕方」「バチのもちかた」「かまえかた」などを学び、3曲を発表会当日までに仕上げることができました。11名の太鼓部員は毎回楽しみに練習に参加し、力強い演奏を聞かせてくれました。

バチを持って真剣に取り組む子どもたちの姿はまぶしく、地域の方たちに元気を届ける機会をつくれなかと開催したのが、この「太鼓部発表会」。本番では、真っ赤な法被を身にまとい、まっすぐ前を向いて演奏するところや、感謝の気持ちを込めて演奏するところを存分に発揮し、私たちも元気をもらいました。

### 南区

#### コロナ禍での夏祭り

澄川地区青少年育成委員会

日時 令和4年8月中旬

場所 各町内の公園など

#### 子どもたちのために新たなチャレンジ!

澄川地区は13の町内からそれぞれ1~2名の委員を選出し、総勢22名で活動しています。そのため、定例会は各町内での活動を共有する大事な場ですが、コロナ禍で中止を余儀なくされ、我慢の日々が続いていました。

しかし、今年度「新しい生活様式」が示されると、委員会活動も少しずつ息を吹き返してきました。と言ってもまだまだ制限が多く、ほとんどの町内で恒例の納涼祭りを中止せざるを得ない状況となりました。

そのような中、各委員はそれぞれの町内で「子どもたちのために何かしてあげたい」との思いから、夏祭りを企画し、実施しました。

「飲食物の販売は?盆踊りは?密にならない活動は?」など、たくさん話し合いを重ねた結果、各町内にて内容の違いはありましたが、どの町内も予想以上の子どもたちが集まり、コロナ感染が拡大することなく大盛況にて夏祭りが終了しました。



## 北区

### 新琴似地区バスレクリエーション

新琴似地区青少年育成委員会

日時 令和4年7月23日(土)

場所 札幌オリンピックミュージアム・円山動物園

#### 今年はオリンピックミュージアムと動物園!



7月23日(土)、感染症予防対策を徹底して恒例のバスレクを実施しました。今年の行き先は札幌オリンピックミュージアムと円山動物園。前日からの雨予報で不安の中、28人の子どもが参加しました。二台の大型バスで宮の森大倉山へ向かい、まずは札幌オリンピックミュージアムに到着。

様々な展示物や体験コーナーにみんな大喜びでした。退館時には普段見られないジャンプの練習を間近で見られてみんな大興奮! すっかり晴れ模様と変わった天気の中、次は円山動物園に行きました。到着後は真っ先に芝生や休憩所に直行!

今日が一番のお楽しみ、お弁当タイム! そのあとゆっくりといろいろな動物たちを見て回りました。子どもたちは「やっぱり外は気持ちいい!」「みんなと会えて嬉しい!」と大喜びでした。

## 西区

### 琴似屯田菜園ふれあいフェア

琴似二十四軒地区青少年育成委員会

日時 令和4年8月20日(土)、21日(日)

場所 ホテルコトニ札幌 コトニガーデン

#### 琴似の歴史を知ろう! みんなで楽しもう!

8月20日(土)~8月21日(日)、ホテルコトニ札幌(西区琴似2条5丁目)屋上のコトニガーデンで「琴似屯田菜園ふれあいフェア」が行われ、大人から子どもまで多くの方が参加しました。これは琴似地区まちづくり協議会が主催し、琴似二十四軒地区青少年育成委員会や琴似連合町内会、琴似飲食業組合、ことにTV、琴似屯田子孫会が協力しているものです。

琴似屯田兵村兵屋跡の菜園で栽培されている野菜を使った料理の販売や、地域のアイドルのステージイベントなどのほか、青少年育成委員がスタッフとなり、お菓子のつかみ取りやヨーヨー釣り、風船などの子ども縁日が行われ、参加した子どもたちは満面の笑みで各種催しに熱中していました。

また、当日は琴似屯田兵村兵屋跡の復元50周年を記念した啓発品の配布なども行われ、琴似の歴史の紹介や地域の絆の醸成にもつながりました。



## 厚別区

### 厚別区夏休み合同ラジオ体操

もみじ台地区青少年育成委員会

日時 令和4年7月31日(日)

場所 ホクノスーパー中央店 駐車場

#### 夏休みも朝から元気に!

7月31日(日)の朝6時半から、ホクノスーパー中央店の駐車場にて、夏休み合同ラジオ体操会を開催しました。

当日は天候にも恵まれ、地域の子ども67名を含む169名が参加し、それぞれ距離を保ちながらラジオ体操を行いました。

ラジオ体操で体を動かした後は、恒例の〇×クイズも開催。もみじ台地区に関する問題の他にも、「おやつ」の語源や日本ハムファイターズの前日の勝敗など、様々なジャンルのクイズが出題され、最後まで残った子どもたちには景品としてお菓子が配られました。

感染予防としてマスクを着用しながらのラジオ体操でしたが、北海道の夏らしい、爽やかな空気をたくさん吸って、のびのびと体を動かすことができ、更に、コロナになんか負けないぞ!と言わんばかりに元気に動き回る子どもたちの笑顔も見ることができました。



# 白石区

## 夏の星空観望会

白石東地区青少年育成委員会

日時 令和4年8月2日(火)

場所 札幌市立大谷地小学校グラウンド

### 星を見たかったよ～!

8月2日(火)、青少年科学館の派遣事業「夏の移動天文台」を行いました。参加申込者が90名となり、コロナ禍での開催でしたので、参加者の連絡先の把握や検温、手指消毒を徹底して行う準備を進めました。

当日は、移動天文車「オリオン2世号」も来てくれたのですが、天気が悪く曇空の中での開催となり、参加者が65名となってしまいました。しかし、星が見えない中、天文指導員の方々はいろいろな工夫をして子どもたちを楽しませてくれました。天体望遠鏡の組み立てを見せてもらったり、遠くにある看板や学校の時計を見る体験をさせてもらったりしました。また、星座表で晴天なら見える星の説明もしてくれました。

星には名前があり物語もあることが分かり、参加者の皆さんは大いに興味を持ってくれたことと思います。次回は星空が見える日にこの行事を行ってみたいと思いました。



# 中央区

## わくわくビンゴ

桑園地区青少年育成委員会

日時 令和4年7月30日(土)

場所 桑園公園



受付には行列が

### いくつかクリアできるかな?!

7月30日(土)、夏の晴天の下、桑園地区青少年育成委員会が主催する「わくわくビンゴ」が、桑園公園(北7条西18丁目)で初めて開催され、地域の小学生約60人が参加しました。

子どもたちは、各マスに様々なミッションが書かれたビンゴ用紙を手し、公園内を元気いっぱい回ってミッションに取り組み、ビンゴ完成を目指しました。

ミッションには、わなげ、金魚すくい、まとあて、水風船投げ、缶つみ、公園内の木の名前を調べる…など、たくさんの種目があったため、ビンゴが1列完成して賞品をもらった後も、全てのビンゴを完成させようと頑張る子どもたちがいるなど、会場は最後まで大盛況でした。

参加者は皆、感染対策をしっかり意識し、コロナ禍にありながらも親子の笑顔があふれる、とても楽しい夏休みのひとときとなりました。



ビンゴカード

# 手稲区

## 交通安全パトロール

手稲地区青少年育成委員会

日時 令和4年4月

場所 手稲中央小学校区

### 新一年生の見守り

小学校新一年生の入学式の当日、校門で交通安全の見守りと、新一年生と保護者に「ご入学おめでとうございます。」と声掛けを行いました。恥ずかしそうな子どもと誇らしげな保護者の姿がとてもまぶしく見えました。

次の日から5日間は、集団下校の付き添いをしました。地区ごとの下校時、先導する先生が1~2名であるため、隅々まで目が行き届きません。そのため、友達との話に夢中になって自宅への曲がり角を間違え、迎える保護者と会えない子がいました。

そのような時は、育成委員が家まで付き添い、保護者と会えるまで家の前で待っていました。また、子どもと会えずに、青い顔をして探し回る保護者とは、学校と連携しながら探し回ったこともありました。

このような経験から、地域における下校時の見守り活動は、子どもたちの安全を守る大切な活動であると再認識しました。



